地方の教育振興基本計画策定に向けて

都道府県教育指標集

平成30年7月19日

自由民主党政務調査会　文部科学部会

はじめに

平成18年、教育基本法が、昭和22年の制定以来初めて、59年ぶりに改正されました。憲法の自主的改正とともに、結党以来の自民党の悲願でした。

同法には、具体的な教育施策を着実に実行するため、教育振興基本計画の策定が規定されています。国は、その策定が必須となっており、地方も努力規定が課されています (詳細は4ページをご覧ください)。

初等中等教育は、地方が主体です。国の支援はもちろんですが、地方での積極的な取組みがなければ、成果は上がらないと実感しています。

そこで、各地での教育振興基本計画の策定に向けて、都道府県ごとのデータをまとめました。本資料を活用して、各地での教育政策の議論が進むことを期待しています。

平成30年　7月19日　　文部科学部会長　赤池誠章

教育、科学技術、文化、スポーツ施策5年間の実績

自民党 Lib Dems Liberal Democratic Party of JAPAN

1. 教育：教育再生の実現

平成29年10月　自由民主党政務調査会　文部科学部会まとめ

●(1)世界トップレベルの学力の実現

特に理数分野は、OECD加盟国35カ国内で第１位（PISA2015結果より）

●(2)教育費負担の軽減

・幼児教育無償化の推進

第３子以降の無償化に加え、所得の低い世帯の第２子も無償とするなど、無償化の範囲を拡大

・奨学金の充実

（高校等）

高校生等奨学給付金（返還不要）の創設（平成26年度）

（大学等）

無利子奨学金の充実

38.3万人（平成24年度）→51.9万人（平成29年度）

給付型奨学金の創設　2,800人（平成29年度先行実施）

●(3)学校指導体制の充実（教職員定数の改善）

平成25～29年度の加配定数改善 ＋2,523人（合計）

法改正による基礎定数改善 ＋3,949人（平成29～38年度推計値）

●(4)いじめ防止等・不登校支援に係る取組強化

・平成25年、いじめ防止対策推進法の成立

・専門スタッフの配置拡充による教育相談体制の強化

スクールカウンセラー…17,621箇所（平成24年度）→ 26,860箇所（平成29年度計画）

スクールソーシャルワーカー…784人（平成24年度）→ 2,087人（平成29年度計画）※実人数

●(5)道徳の教科化

・平成27年3月、学習指導要領等の一部改正、道徳の教科書作成

・小学校は平成30年度、中学校は31年度から全面実施

●(6)高等教育機関における職業教育の充実

・平成25年、専門学校における職業実践専門課程の創設

・平成27年、大学等における職業実践力育成プログラム（BP）の創設

・平成29年、専門職大学・同短大制度の創設、平成31年開校

●(7)指定国立大学法人制度の創設

平成29年、世界最高水準の教育研究活動を展開する大学として、東北大学、東京大学、京都大学を指定

●(8)学校施設の耐震化率の向上

84.8%（平成24年）→98.8%（平成29年）　(公立小中学校)

2. 科学技術：科学技術イノベーションの活性化

自民党 Lib Dems Liberal Democratic Party of JAPAN

●(1)世界的な研究成果

平成26年　ノーベル物理学賞（赤崎勇、天野浩、中村修二）
平成27年　ノーベル生理学・医学賞（大村智）
　　ノーベル物理学賞（梶田隆章）
平成28年　ノーベル生理学・医学賞（大隅良典）
　　113番元素にニホニウムと命名

●(2)産学連携の進展

・民間企業との共同研究実施件数・民間企業からの共同研究受入額
16,925件・341億円（平成24年度）→20,821件・ 467億円（平成27年度）

・大学発特許のライセンス等件数
7,204件（平成24年度）→9,722件（平成27年度）

●(3)特定国立研究開発法人制度の創設

世界最高水準の研究開発成果を創出する機関として、物質・材料研究機構、理化学研究所、産業技術総合研究所の3機関が指定

●(4)国家基幹技術の推進

・基幹ロケット（H-ⅡA/Bロケット、イプシロンロケット）の37機連続打ち上げ成功
・星出・若田・油井・大西宇宙飛行士による国際宇宙ステーションでの活躍（平成24年度～28年度）
・最新の観測設備を備えた海底広域研究船「かいめい」竣工（平成27年度）

3. スポーツ：スポーツ立国の実現

●(1)スポーツ庁の創設

・平成27年10月、スポーツ行政を総合的・一体的に推進するため、スポーツ庁を創設

●(2)スポーツの大規模国際競技大会の誘致

・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のほか、ラグビーワールドカップ2019（全国12都市）や2019年女子ハンドボール世界選手権大会 (熊本県)、世界柔道選手権大会（東京都）、世界水泳選手権大会(福岡県)、ワールドマスターズゲームズ2021関西（関西圏）など2021年までに全国で8大会以上

●(3)リオ大会における日本選手の活躍

・オリンピック：史上最多の総メダル数41（金12、銀8、銅21）
・パラリンピック：前回大会を上回る総メダル数24（銀10、銅14）

4. 文化：文化芸術立国の実現

●(1)文化プログラムの推進

・2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、全国各地における文化プログラムの実施を推進
（東京2020文化オリンピアード：約700件、beyond2020プログラム：約1000件　を認定（平成29年9月時点））

●(2)日本遺産の創設

・平成27年度の創設以降、全国で54件を認定（平成29年度）

●(3)文化庁の京都移転・機能強化

・文化庁の機能強化を図りつつ、2021年度中に京都へ全面的に移転することを決定

第３期教育振興基本計画とは

１．改正教育基本法と教育振興基本計画について

平成 18 年に教育基本法が改正され、教育の目標として、豊かな情操と道徳心を培うこと、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことなどを明確に規定。

同時に、こうした改正教育基本法の理念・目的・目標を確実に実現するために、教育の振興に関する基本的な方針や講ずべき施策等を定める教育振興基本計画の策定義務を政府に課す規定を新設。

計画期間は、おおむね五年間とされており、第３期計画は、平成 30（2018）年から平成 34（2022）年までが計画期間となる。

※第３期計画の全文が掲載されているＵＲＬはこちら
http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/1406059.htm

２．第３期計画の体系について

第３期計画においては、改正教育基本法の教育の理念・目的・目標の達成状況をより可視化するため、改正教育基本法の第１章「教育の目的及び理念」に定める規定に対応する形で、５つの今後の教育政策に関する基本的な方針、21 の教育政策の目標、目標の達成状況を図る指標、目標の達成に必要となる施策群が整理されている。

３．地方公共団体の教育振興基本計画について

改正教育基本法は、地方公共団体において、政府の教育振興基本計画を参酌しつつ、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めることを規定している。

このため、各地方公共団体においては、本規定の趣旨を踏まえ、第３期計画を参酌の上、各地方公共団体における教育振興基本計画について、その策定又は見直しに努める必要がある。

◎改正教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）（抄）
（教育振興基本計画）
第十七条　政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
２　地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

５つの今後の教育政策に関する基本的な方針と 21 の教育政策の目標

自民党 | Lib Dems Liberal Democratic Party of JAPAN

基本的な方針	教育政策の目標
１　夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する	(1)確かな学力の育成＜主として初等中等教育段階＞
	(2)豊かな心の育成＜〃＞
	(3)健やかな体の育成＜〃＞
	(4)問題発見・解決能力の修得＜主として高等教育段階＞
	(5)社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成＜生涯の各段階＞
	(6)家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進＜〃＞
２　社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する	(7)グローバルに活躍する人材の育成
	(8)大学院教育の改革等を通じたイノベーションを牽引する人材の育成
	(9)スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成
３　生涯学び、活躍できる環境を整える	(10)人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
	(11)人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進
	(12)職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進
	(13)障害者の生涯学習の推進
４　誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する	(14)家庭の経済状況や地理的条件への対応
	(15)多様なニーズに対応した教育機会の提供
５　教育政策推進のための基盤を整備する	(16)新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等
	(17)ICT 利活用のための基盤の整備
	(18)安全・安心で質の高い教育研究環境の整備
	(19)児童生徒等の安全の確保
	(20)教育研究の基盤強化に向けた高等教育のシステム改革
	(21)日本型教育の海外展開と我が国の教育の国際化

※　教育政策の目標の達成状況を図るため設定されている指標については、以下の点で留意する必要がある。

- 数値の達成が自己目的化され、本来の目指すべき状況との乖離や望まざる結果を招かないように十分に留意する必要があること。
- 指標のみをもって目標の達成状況に係る全ての要因を評価することは困難であること。
- 指標の推移に加え、関連する情報も含め、多角的な評価を行うことが重要であること。

北海道

				北海道	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	44%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	75.0%	77.9%
			中	69.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			97.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.7%	92.6%
			中	91.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.9%	4.6%
			中	7.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.7%	79.8%
			中	74.9%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.0%	91.1%
			中	92.4%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	99.2%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.0%	99.8%
			中	99.2%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.52	54.16
			女子	54.48	55.72
		中２	男子	40.70	41.96
			女子	46.19	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	59.4%	56.4%
			女子	37.3%	32.9%
		中２	男子	80.0%	84.8%
			女子	54.2%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.4%	93.3%
			女子	88.0%	87.4%
		中２	男子	90.0%	88.7%
			女子	78.4%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	54.3%	62.2%
			中	34.4%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			48.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			44.1%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	32.8%	40.7%
			高	37.6%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.64%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			3,454人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.048%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			39.0%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			21.9%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			4,934人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.2人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			77.3%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			26.6%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			84.5%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			78.8%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			42,378件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			18件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

青森県

				青森県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	79%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	80%	78.8%
			算数Ｂ	48%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	80.3%	77.9%
			中	71.1%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			96.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.2%	92.6%
			中	93.1%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.9%	4.6%
			中	6.3%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.5%	79.8%
			中	77.6%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.7%	91.1%
			中	92.9%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	100.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.6%	99.8%
			中	98.7%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	54.40	54.16
			女子	56.72	55.72
		中２	男子	42.28	41.96
			女子	49.45	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	67.0%	56.4%
			女子	46.1%	32.9%
		中２	男子	87.9%	84.8%
			女子	68.1%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.4%	93.3%
			女子	89.5%	87.4%
		中２	男子	90.6%	88.7%
			女子	81.7%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	56.1%	62.2%
			中	37.0%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			9.8%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			22.5%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	39.9%	40.7%
			高	42.0%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.45%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			330人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.013%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			37.9%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.6%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.1%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			624人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			72.2%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			25.9%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			83.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			78.3%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			8,699件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

岩手県

				岩手県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	77%	74.9%
			国語Ｂ	60%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	60%	65.2%
			数学Ｂ	45%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	75.9%	77.9%
			中	68.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			86.5%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.2%	92.6%
			中	93.2%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.1%	4.6%
			中	4.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.8%	79.8%
			中	80.1%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.5%	91.1%
			中	93.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	100.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.7%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	54.86	54.16
			女子	57.49	55.72
		中２	男子	44.22	41.96
			女子	51.74	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	61.5%	56.4%
			女子	41.0%	32.9%
		中２	男子	89.6%	84.8%
			女子	71.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.4%	93.3%
			女子	89.0%	87.4%
		中２	男子	90.6%	88.7%
			女子	80.1%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	81.8%	62.2%
			中	66.1%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			14.7%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			57.6%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	37.1%	40.7%
			高	35.9%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.59%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			315人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.003%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			37.9%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.9%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.1%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,329人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.1人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			75.1%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			21.1%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			86.1%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			88.3%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			9,883件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			３件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			２件	57件

宮城県

				宮城県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	44%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	76.7%	77.9%
			中	70.0%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			93.4%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.1%	92.6%
			中	91.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.1%	4.6%
			中	6.2%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.1%	79.8%
			中	79.5%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.3%	91.1%
			中	93.0%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	99.5%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.6%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.83	54.16
			女子	54.92	55.72
		中２	男子	42.01	41.96
			女子	48.87	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	52.5%	56.4%
			女子	26.5%	32.9%
		中２	男子	90.8%	84.8%
			女子	70.3%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.3%	93.3%
			女子	87.4%	87.4%
		中２	男子	89.2%	88.7%
			女子	79.7%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	72.3%	62.2%
			中	44.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			13.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			85.7%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	42.7%	40.7%
			高	27.9%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.74%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			3,975人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.017%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			45.2%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.0%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,836人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			17.6人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			71.9%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			630.0%	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			22.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			81.1%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			90.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			20,177件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			３件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			０件	57件

秋田県

				秋田県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	80%	74.9%
			国語Ｂ	64%	57.6%
			算数Ａ	84%	78.8%
			算数Ｂ	50%	46.2%
		中	国語Ａ	82%	77.8%
			国語Ｂ	78%	72.7%
			数学Ａ	68%	65.2%
			数学Ｂ	52%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	86.1%	77.9%
			中	79.8%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			94.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	96.2%	92.6%
			中	96.0%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.0%	4.6%
			中	3.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	85.1%	79.8%
			中	80.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	93.8%	91.1%
			中	94.2%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	98.3%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.4%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	56.67	54.16
			女子	58.78	55.72
		中２	男子	44.22	41.96
			女子	50.82	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	67.6%	56.4%
			女子	44.6%	32.9%
		中２	男子	87.7%	84.8%
			女子	60.6%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	95.8%	93.3%
			女子	91.1%	87.4%
		中２	男子	91.6%	88.7%
			女子	83.8%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	79.9%	62.2%
			中	52.4%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			34.6%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			64.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	49.1%	40.7%
			高	41.7%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.26%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			431人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.008%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			38.1%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			548人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			9.1	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			69.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.8人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			47.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			87.9%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			96.4%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			6,152件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

山形県

				山形県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	55%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	44%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	46%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	80.1%	77.9%
			中	74.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			85.4%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.6%	92.6%
			中	93.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.5%	4.6%
			中	4.2%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.8%	79.8%
			中	76.5%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.5%	91.1%
			中	93.3%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	54.01	54.16
			女子	56.61	55.72
		中２	男子	42.26	41.96
			女子	49.95	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	54.7%	56.4%
			女子	34.4%	32.9%
		中２	男子	91.6%	84.8%
			女子	69.0%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.8%	93.3%
			女子	87.9%	87.4%
		中２	男子	90.0%	88.7%
			女子	80.8%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	82.7%	62.2%
			中	57.9%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			33.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			68.6%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	33.9%	40.7%
			高	44.2%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.27%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			265人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.013%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			38.5%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			6.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			18.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,273人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.1人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			77.1%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			33.2%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			83.4%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			83.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			9,838件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			３件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			０件	57件

福島県

				福島県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	76.4%	77.9%
			中	68.8%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			92.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.8%	92.6%
			中	91.4%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.9%	4.6%
			中	6.3%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.0%	79.8%
			中	76.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.0%	91.1%
			中	93.2%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	100%]	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	98.8%	99.8%
			中	98.7%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.98	54.16
			女子	56.39	55.72
		中２	男子	41.37	41.96
			女子	49.43	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	49.0%	56.4%
			女子	27.3%	32.9%
		中２	男子	89.0%	84.8%
			女子	67.7%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.7%	93.3%
			女子	87.7%	87.4%
		中２	男子	89.2%	88.7%
			女子	79.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	63.3%	62.2%
			中	40.8%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			18.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			40.7%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	32.9%	40.7%
			高	33.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.47%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			725人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.014%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			39.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.6%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			18.8%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,105人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			66.7%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			12.4%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			76.2%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			79.1%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			8,989件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			12件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

茨城県

				茨城県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	47%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	74%	72.7%
			数学Ａ	65%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.6%	77.9%
			中	68.8%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			86.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.3%	92.6%
			中	92.4%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.0%	4.6%
			中	6.5%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	82.6%	79.8%
			中	77.1%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.5%	91.1%
			中	93.0%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	100.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.6%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	56.85	54.16
			女子	59.66	55.72
		中２	男子	45.62	41.96
			女子	54.19	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	51.0%	56.4%
			女子	28.8%	32.9%
		中２	男子	88.7%	84.8%
			女子	65.6%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.4%	93.3%
			女子	89.6%	87.4%
		中２	男子	89.2%	88.7%
			女子	79.9%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	64.4%	62.2%
			中	43.5%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			11.1%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			0.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	43.3%	40.7%
			高	36.2%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.37%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			5,547人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.427%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			47.5%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			3.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.9%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,027人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.9	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			82.0%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			32.1%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			84.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			89.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			20,587件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			6件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

栃木県

				栃木県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.7%	77.9%
			中	74.7%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			90.4%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.7%	92.6%
			中	94.0%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.9%	4.6%
			中	5.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	82.9%	79.8%
			中	77.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	93.5%	91.1%
			中	93.8%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	96.9%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	97.7%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.31	54.16
			女子	55.91	55.72
		中２	男子	41.58	41.96
			女子	50.01	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	51.6%	56.4%
			女子	31.0%	32.9%
		中２	男子	89.7%	84.8%
			女子	67.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.6%	93.3%
			女子	87.7%	87.4%
		中２	男子	88.9%	88.7%
			女子	78.9%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	69.7%	62.2%
			中	44.3%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			34.6%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			20.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	39.0%	40.7%
			高	41.4%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.98%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			3,019人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.019%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			47.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.6%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.3%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,429人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			15.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			75.0%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			37.1%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			77.5%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			83.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			12,397件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			5件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			7件	57件

群馬県

				群馬県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	44%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	75%	72.7%
			数学Ａ	65%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	80.9%	77.9%
			中	73.4%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			92.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.9%	92.6%
			中	92.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.7%	4.6%
			中	5.4%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	81.9%	79.8%
			中	75.8%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.7%	91.1%
			中	93.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	98.8%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.1%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.48	54.16
			女子	55.42	55.72
		中２	男子	42.43	41.96
			女子	51.08	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	53.2%	56.4%
			女子	28.8%	32.9%
		中２	男子	90.4%	84.8%
			女子	69.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.8%	93.3%
			女子	87.1%	87.4%
		中２	男子	89.3%	88.7%
			女子	79.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	71.3%	62.2%
			中	44.2%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			8.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			14.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	43.3%	40.7%
			高	36.8%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.85%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			6,087人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.029%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			47.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			18.4%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,997人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.1人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			74.7%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			26.5%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			83.3%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			86.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			13,230件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

埼玉県

				埼玉県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	76%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	76%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.8%	77.9%
			中	72.3%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			96.8%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.8%	92.6%
			中	92.1%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.5%	4.6%
			中	5.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.5%	79.8%
			中	78.4%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.7%	91.1%
			中	92.7%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.8%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	56.11	54.16
			女子	58.37	55.72
		中２	男子	44.63	41.96
			女子	53.77	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	53.2%	56.4%
			女子	29.1%	32.9%
		中２	男子	89.5%	84.8%
			女子	66.9%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.4%	93.3%
			女子	86.3%	87.4%
		中２	男子	87.2%	88.7%
			女子	77.5%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	60.1%	62.2%
			中	37.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			31.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			54.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	41.9%	40.7%
			高	34.5%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.90%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			10,340人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.009%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			52.9%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.4%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			3,686人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			10.2人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			77.0%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			7.9人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			26.5%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			85.4%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			93.2%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			58,720件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			26件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

千葉県

				千葉県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	76%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.0%	77.9%
			中	68.0%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			86.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.4%	92.6%
			中	90.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.7%	4.6%
			中	7.8%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.7%	79.8%
			中	74.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.9%	91.1%
			中	92.3%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	100.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.4%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	54.85	54.16
			女子	56.86	55.72
		中２	男子	43.71	41.96
			女子	52.46	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	55.1%	56.4%
			女子	31.9%	32.9%
		中２	男子	86.7%	84.8%
			女子	63.5%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.7%	93.3%
			女子	86.7%	87.4%
		中２	男子	87.9%	88.7%
			女子	78.4%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	53.6%	62.2%
			中	35.3%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			9.1%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			31.5%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	48.9%	40.7%
			高	44.9%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.14%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			11,550人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.028%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			51.9%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			3.6%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.8%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			5,411人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.0人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			72.1%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			7.7人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			50.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			83.8%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			85.6%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			48,341件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			31件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	57件

東京都

				東京都	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	60%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	49%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	74%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.1%	77.9%
			中	70.2%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			92.5%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.8%	92.6%
			中	90.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.5%	4.6%
			中	6.7%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.3%	79.8%
			中	75.4%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.7%	91.1%
			中	92.0%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.5%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	54.34	54.16
			女子	56.03	55.72
		中２	男子	40.92	41.96
			女子	49.01	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	58.4%	56.4%
			女子	35.0%	32.9%
		中２	男子	78.7%	84.8%
			女子	56.4%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.4%	93.3%
			女子	89.1%	87.4%
		中２	男子	88.3%	88.7%
			女子	80.5%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	48.8%	62.2%
			中	32.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			28.6%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			50.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	51.6%	40.7%
			高	38.3%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.72%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			103,456人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.028%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			63.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			2.3%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			11.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			18,728人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.8人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			73.6%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			37.4%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			91.8%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			95.7%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			69,271件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			38件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			6件	57件

神奈川県

				神奈川県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	73%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.2%	77.9%
			中	68.8%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			80.8%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.9%	92.6%
			中	90.2%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.5%	4.6%
			中	8.2%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.3%	79.8%
			中	72.0%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.2%	91.1%
			中	89.3%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	64.1%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	57.1%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	52.99	54.16
			女子	53.64	55.72
		中２	男子	40.09	41.96
			女子	47.15	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	56.0%	56.4%
			女子	31.2%	32.9%
		中２	男子	85.1%	84.8%
			女子	59.7%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.4%	93.3%
			女子	87.9%	87.4%
		中２	男子	88.6%	88.7%
			女子	78.5%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	55.2%	62.2%
			中	35.1%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			26.5%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			18.2%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	37.6%	40.7%
			高	45.2%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.25%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			9,816人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.006%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			57.3%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.0%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			6,922人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			15.6人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			70.9%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			8.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			14.0%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			96.0%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			92.6%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			54,604件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			21件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	57件

新潟県

				新潟県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	77%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	80%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	80.3%	77.9%
			中	74.1%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			91.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	94.2%	92.6%
			中	93.8%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.3%	4.6%
			中	4.4%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.0%	79.8%
			中	78.9%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.6%	91.1%
			中	94.0%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.6%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.4%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	56.49	54.16
			女子	58.66	55.72
		中２	男子	45.01	41.96
			女子	52.45	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	53.6%	56.4%
			女子	28.1%	32.9%
		中２	男子	89.0%	84.8%
			女子	64.1%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.4%	93.3%
			女子	89.5%	87.4%
		中２	男子	89.7%	88.7%
			女子	77.5%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	80.1%	62.2%
			中	49.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			41.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			76.7%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	31.0%	40.7%
			高	39.9%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.38%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			2,266人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.003%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			40.8%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.6%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			26.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,439人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			74.3%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.3人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			10.7%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			85.6%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			80.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			21,958件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

富山県

				富山県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	78%	74.9%
			国語Ｂ	60%	57.6%
			算数Ａ	82%	78.8%
			算数Ｂ	47%	46.2%
		中	国語Ａ	80%	77.8%
			国語Ｂ	75%	72.7%
			数学Ａ	68%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.6%	77.9%
			中	74.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			86.5%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.7%	92.6%
			中	92.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.6%	4.6%
			中	4.5%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.3%	79.8%
			中	78.2%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.4%	91.1%
			中	93.6%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	98.8%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	55.29	54.16
			女子	57.30	55.72
		中２	男子	42.53	41.96
			女子	50.15	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	52.7%	56.4%
			女子	29.7%	32.9%
		中２	男子	89.4%	84.8%
			女子	65.4%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.1%	93.3%
			女子	87.8%	87.4%
		中２	男子	89.1%	88.7%
			女子	77.8%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	79.5%	62.2%
			中	53.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			6.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			0.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	43.7%	40.7%
			高	49.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.51%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			658人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.010%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			44.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,810人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			9.8人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			80.5%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.8人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			5.7%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			100.0%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			86.0%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			9,139件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

石川県

				石川県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	79%	74.9%
			国語Ｂ	64%	57.6%
			算数Ａ	85%	78.8%
			算数Ｂ	53%	46.2%
		中	国語Ａ	82%	77.8%
			国語Ｂ	77%	72.7%
			数学Ａ	69%	65.2%
			数学Ｂ	53%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.3%	77.9%
			中	71.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			92.7%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.5%	92.6%
			中	93.4%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.1%	4.6%
			中	3.7%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	82.2%	79.8%
			中	79.8%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.4%	91.1%
			中	94.4%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	98.8%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.6%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	56.80	54.16
			女子	58.20	55.72
		中２	男子	45.13	41.96
			女子	52.71	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	56.4%	56.4%
			女子	31.7%	32.9%
		中２	男子	90.6%	84.8%
			女子	65.6%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.1%	93.3%
			女子	89.1%	87.4%
		中２	男子	90.2%	88.7%
			女子	80.1%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	79.3%	62.2%
			中	52.0%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			15.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			5.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	50.2%	40.7%
			高	43.3%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.01%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,919人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.009%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			46.9%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			13.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			919人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			79.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.8人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			12.3%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			86.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			88.4%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			11,437件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

福井県

				福井県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	78%	74.9%
			国語Ｂ	60%	57.6%
			算数Ａ	82%	78.8%
			算数Ｂ	51%	46.2%
		中	国語Ａ	82%	77.8%
			国語Ｂ	77%	72.7%
			数学Ａ	73%	65.2%
			数学Ｂ	54%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	82.7%	77.9%
			中	76.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			86.5%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.4%	92.6%
			中	94.6%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.8%	4.6%
			中	4.8%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.4%	79.8%
			中	78.8%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	93.4%	91.1%
			中	94.0%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	98.7%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.0%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	57.92	54.16
			女子	60.04	55.72
		中２	男子	45.89	41.96
			女子	54.28	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	60.8%	56.4%
			女子	37.2%	32.9%
		中２	男子	89.8%	84.8%
			女子	63.4%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.0%	93.3%
			女子	90.1%	87.4%
		中２	男子	91.0%	88.7%
			女子	82.0%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	80.0%	62.2%
			中	57.0%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			0.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			0.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	62.8%	40.7%
			高	52.4%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			2.07%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			412人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.017%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			49.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.6%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			14.8%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			690人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			10.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			78.1%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.5人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			33.0%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			80.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			95.1%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			6,670件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

山梨県

				山梨県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	43%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	74%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	49%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.4%	77.9%
			中	75.5%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			94.3%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.1%	92.6%
			中	94.2%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.6%	4.6%
			中	6.0%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.2%	79.8%
			中	76.7%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	93.2%	91.1%
			中	92.8%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	98.9%	99.8%
			中	96.3%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	99.0%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.48	54.16
			女子	54.99	55.72
		中２	男子	42.86	41.96
			女子	50.19	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	59.1%	56.4%
			女子	33.3%	32.9%
		中２	男子	88.0%	84.8%
			女子	69.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.7%	93.3%
			女子	90.3%	87.4%
		中２	男子	91.6%	88.7%
			女子	80.7%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	73.4%	62.2%
			中	60.3%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			37.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			0.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	36.3%	40.7%
			高	38.7%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.83%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,042人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.021%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			51.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			805人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.9人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			74.3%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.4人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			53.5%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			84.4%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			86.3%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			5,814件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

長野県

				長野県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.0%	77.9%
			中	71.2%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			91.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.1%	92.6%
			中	92.6%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.2%	4.6%
			中	5.0%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	83.3%	79.8%
			中	77.8%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.9%	91.1%
			中	93.3%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	98.4%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	54.69	54.16
			女子	55.69	55.72
		中２	男子	42.35	41.96
			女子	49.04	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	49.7%	56.4%
			女子	23.6%	32.9%
		中２	男子	82.9%	84.8%
			女子	54.9%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.8%	93.3%
			女子	89.4%	87.4%
		中２	男子	91.1%	88.7%
			女子	78.7%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	87.8%	62.2%
			中	63.2%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			19.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			0.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	37.0%	40.7%
			高	38.8%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.72%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,518人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.006%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			39.0%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			9.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			20.8%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,209人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.9人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			67.8%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.5人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			26.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			80.1%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			87.6%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			19,809件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			10件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

岐阜県

				岐阜県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	58%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	74%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.6%	77.9%
			中	71.8%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			87.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.3%	92.6%
			中	92.8%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.4%	4.6%
			中	5.4%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.9%	79.8%
			中	76.0%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.5%	91.1%
			中	91.8%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.4%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	54.03	54.16
			女子	55.85	55.72
		中２	男子	42.88	41.96
			女子	51.00	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	56.6%	56.4%
			女子	31.6%	32.9%
		中２	男子	84.3%	84.8%
			女子	63.1%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.1%	93.3%
			女子	86.5%	87.4%
		中２	男子	87.9%	88.7%
			女子	78.8%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	81.6%	62.2%
			中	62.1%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			39.5%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			2.4%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	36.4%	40.7%
			高	39.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.11%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,952人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.027%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			48.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			13.2%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			3,551人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			14.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			82.6%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			11.9%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			97.0%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			87.8%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			15,528件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			6件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

静岡県

				静岡県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	74%	72.7%
			数学Ａ	67%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	81.0%	77.9%
			中	74.3%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			79.4%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.2%	92.6%
			中	92.5%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.7%	4.6%
			中	5.7%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.6%	79.8%
			中	75.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.0%	91.1%
			中	92.2%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.6%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	98.8%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.83	54.16
			女子	56.25	55.72
		中２	男子	42.77	41.96
			女子	51.69	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	52.3%	56.4%
			女子	29.1%	32.9%
		中２	男子	90.3%	84.8%
			女子	67.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.1%	93.3%
			女子	86.4%	87.4%
		中２	男子	89.1%	88.7%
			女子	77.4%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	72.1%	62.2%
			中	67.9%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			18.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			57.1%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	39.9%	40.7%
			高	43.2%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.78%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			2,780人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.026%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			48.6%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.3%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.2%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,629人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			15.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			69.5%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			63.1%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			88.5%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			98.3%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			30,430件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			19件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

愛知県

				愛知県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	73%	74.9%
			国語Ｂ	55%	57.6%
			算数Ａ	76%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	67%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.7%	77.9%
			中	70.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			91.3%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.3%	92.6%
			中	91.8%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.7%	4.6%
			中	6.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	78.2%	79.8%
			中	71.8%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.7%	91.1%
			中	91.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.5%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.4%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	52.13	54.16
			女子	53.90	55.72
		中２	男子	40.11	41.96
			女子	48.75	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	57.7%	56.4%
			女子	36.0%	32.9%
		中２	男子	85.8%	84.8%
			女子	62.3%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.5%	93.3%
			女子	86.1%	87.4%
		中２	男子	87.7%	88.7%
			女子	77.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	66.0%	62.2%
			中	40.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			7.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			3.7%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	32.0%	40.7%
			高	35.5%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.86%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			9,337人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.026%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			53.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			12.6%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			5,049人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			15.9人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			67.0%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			7.8人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			27.3%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			96.5%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			94.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			63,262件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			27件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	57件

三重県

				三重県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	65%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.4%	77.9%
			中	73.2%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			91.3%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.8%	92.6%
			中	92.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.5%	4.6%
			中	6.3%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.3%	79.8%
			中	75.7%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.1%	91.1%
			中	92.0%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	94.9%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	76.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.76	54.16
			女子	55.46	55.72
		中２	男子	41.88	41.96
			女子	50.25	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	56.1%	56.4%
			女子	32.1%	32.9%
		中２	男子	89.7%	84.8%
			女子	68.2%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.2%	93.3%
			女子	86.7%	87.4%
		中２	男子	89.4%	88.7%
			女子	78.5%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	68.3%	62.2%
			中	47.2%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			60.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			44.8%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	35.3%	40.7%
			高	38.6%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.61%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,208人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.009%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			45.5%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.0%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			872人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			14.1人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			82.9%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			25.0%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			84.6%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			98.3%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			19,058件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			5件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

滋賀県

				滋賀県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	73%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	76%	78.8%
			算数Ｂ	43%	46.2%
		中	国語Ａ	76%	77.8%
			国語Ｂ	69%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.7%	77.9%
			中	68.8%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			82.4%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.7%	92.6%
			中	91.2%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.5%	4.6%
			中	5.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.1%	79.8%
			中	74.7%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.2%	91.1%
			中	92.2%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.6%	99.8%
			中	69.7%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	58.0%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.72	54.16
			女子	54.53	55.72
		中２	男子	42.50	41.96
			女子	50.04	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	54.9%	56.4%
			女子	29.5%	32.9%
		中２	男子	88.9%	84.8%
			女子	65.4%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.0%	93.3%
			女子	85.4%	87.4%
		中２	男子	88.1%	88.7%
			女子	75.3%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	74.3%	62.2%
			中	51.8%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			50.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			63.2%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	40.0%	40.7%
			高	33.5%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.34%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			433人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.019%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			49.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			6.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.9%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,398人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			68.5%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.6人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			35.2%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			87.4%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			90.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			14,624件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			6件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

京都府

				京都府	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	80%	78.8%
			算数Ｂ	48%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	49%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.9%	77.9%
			中	70.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			93.3%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.1%	92.6%
			中	91.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.3%	4.6%
			中	7.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	76.6%	79.8%
			中	75.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	89.9%	91.1%
			中	91.8%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	74.7%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	37.7%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.52	54.16
			女子	54.31	55.72
		中２	男子	41.71	41.96
			女子	49.24	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	53.6%	56.4%
			女子	29.3%	32.9%
		中２	男子	89.1%	84.8%
			女子	64.5%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.8%	93.3%
			女子	85.4%	87.4%
		中２	男子	89.4%	88.7%
			女子	76.0%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	65.0%	62.2%
			中	39.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			42.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			96.2%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	38.6%	40.7%
			高	36.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.52%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			11,219人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.011%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			60.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.3%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			13.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			4,070人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.2人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			76.6%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.8人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			24.0%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			94.8%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			86.7%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			25,436件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			8件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

大阪府

				大阪府	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	72%	74.9%
			国語Ｂ	54%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	75%	77.8%
			国語Ｂ	69%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	46%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	74.9%	77.9%
			中	65.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			94.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.9%	92.6%
			中	89.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	6.1%	4.6%
			中	9.3%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	76.7%	79.8%
			中	73.7%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	89.6%	91.1%
			中	91.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	81.8%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	77.4%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	52.86	54.16
			女子	54.01	55.72
		中２	男子	40.44	41.96
			女子	48.44	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	54.6%	56.4%
			女子	30.8%	32.9%
		中２	男子	83.9%	84.8%
			女子	60.7%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	91.9%	93.3%
			女子	84.3%	87.4%
		中２	男子	86.9%	88.7%
			女子	75.0%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	50.8%	62.2%
			中	30.9%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			11.4%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			81.4%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	39.5%	40.7%
			高	37.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.72%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			21,683人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.020%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			53.8%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.7%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			4,083人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			15.4人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			74.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			37.2%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			99.8%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			86.8%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			68,277件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			28件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	57件

兵庫県

				兵庫県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	68%	65.2%
			数学Ｂ	50%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.3%	77.9%
			中	70.5%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			83.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.7%	92.6%
			中	91.8%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.2%	4.6%
			中	7.2%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	77.6%	79.8%
			中	74.6%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.6%	91.1%
			中	92.8%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	85.9%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	70.2%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.24	54.16
			女子	54.05	55.72
		中２	男子	40.43	41.96
			女子	48.92	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	58.8%	56.4%
			女子	33.7%	32.9%
		中２	男子	87.8%	84.8%
			女子	63.1%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.3%	93.3%
			女子	86.7%	87.4%
		中２	男子	89.4%	88.7%
			女子	78.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	59.4%	62.2%
			中	41.4%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			25.6%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			61.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	36.4%	40.7%
			高	45.3%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.15%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			9,398人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.018%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			55.8%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.8%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			13.9%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,675人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.9人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			74.7%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.3人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			18.1%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			92.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			87.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			53,391件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			20件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

奈良県

				奈良県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	74%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	65%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	76.2%	77.9%
			中	66.7%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			87.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.2%	92.6%
			中	90.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.6%	4.6%
			中	8.8%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	76.3%	79.8%
			中	71.4%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.8%	91.1%
			中	91.4%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	88.5%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	82.3%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.64	54.16
			女子	55.41	55.72
		中２	男子	42.68	41.96
			女子	49.90	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	54.1%	56.4%
			女子	29.9%	32.9%
		中２	男子	84.7%	84.8%
			女子	58.9%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.4%	93.3%
			女子	85.7%	87.4%
		中２	男子	87.6%	88.7%
			女子	76.4%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	59.5%	62.2%
			中	35.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			19.5%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			82.1%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	40.4%	40.7%
			高	33.2%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.86%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,216人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.019%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			52.8%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.7%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			14.1%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			663人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			67.9%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.7人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			28.3%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			96.0%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			83.1%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			14,993件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

和歌山県

				和歌山県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	70%	72.7%
			数学Ａ	65%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.1%	77.9%
			中	70.2%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			98.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.9%	92.6%
			中	92.2%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.9%	4.6%
			中	8.0%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	78.4%	79.8%
			中	75.9%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.1%	91.1%
			中	93.6%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	98.0%	99.8%
			中	83.9%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	98.3%	99.8%
			中	59.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	55.02	54.16
			女子	56.74	55.72
		中２	男子	41.72	41.96
			女子	49.75	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	56.9%	56.4%
			女子	31.9%	32.9%
		中２	男子	86.5%	84.8%
			女子	67.3%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.2%	93.3%
			女子	88.4%	87.4%
		中２	男子	88.7%	88.7%
			女子	79.1%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	58.7%	62.2%
			中	37.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			64.5%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			16.7%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	44.8%	40.7%
			高	35.0%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.68%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			369人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.003%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			42.5%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.9%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			711人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			72.3%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.8人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			27.4%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			91.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			92.4%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			8,636件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			5件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

鳥取県

				鳥取県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.2%	77.9%
			中	73.2%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			94.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.8%	92.6%
			中	92.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.6%	4.6%
			中	5.4%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.3%	79.8%
			中	78.5%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.1%	91.1%
			中	92.6%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	96.6%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	54.90	54.16
			女子	56.13	55.72
		中２	男子	42.01	41.96
			女子	50.06	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	60.2%	56.4%
			女子	36.7%	32.9%
		中２	男子	89.8%	84.8%
			女子	70.7%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.2%	93.3%
			女子	87.0%	87.4%
		中２	男子	88.0%	88.7%
			女子	75.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	78.7%	62.2%
			中	50.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			23.8%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			52.6%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	35.7%	40.7%
			高	36.5%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.69%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			207人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.000%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			34.0%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.4%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			19.3%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			497人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.8人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			73.1%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			48.5%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			89.2%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			77.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			5,840件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

島根県

				島根県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	58%	57.6%
			算数Ａ	77%	78.8%
			算数Ｂ	43%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	62%	65.2%
			数学Ｂ	46%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.4%	77.9%
			中	74.0%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			91.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.3%	92.6%
			中	93.1%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	3.3%	4.6%
			中	4.0%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.3%	79.8%
			中	79.4%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.9%	91.1%
			中	93.5%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.5%	99.8%
			中	98.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	55.04	54.16
			女子	56.10	55.72
		中２	男子	41.19	41.96
			女子	48.06	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	59.3%	56.4%
			女子	34.0%	32.9%
		中２	男子	89.0%	84.8%
			女子	62.7%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.7%	93.3%
			女子	88.5%	87.4%
		中２	男子	91.1%	88.7%
			女子	79.6%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	73.2%	62.2%
			中	47.2%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			20.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			78.9%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	30.5%	40.7%
			高	35.9%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.26%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			269人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.000%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			38.3%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			22.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,156人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			14.7人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			71.7%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.4人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			50.2%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			78.3%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			89.7%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			8,594件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

岡山県

				岡山県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	58%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	78.8%	77.9%
			中	72.7%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			93.9%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.9%	92.6%
			中	91.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.7%	4.6%
			中	7.4%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.5%	79.8%
			中	76.6%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.5%	91.1%
			中	92.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	98.7%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.0%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	54.27	54.16
			女子	55.57	55.72
		中２	男子	43.02	41.96
			女子	50.73	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	57.0%	56.4%
			女子	36.2%	32.9%
		中２	男子	85.6%	84.8%
			女子	62.3%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.7%	93.3%
			女子	85.8%	87.4%
		中２	男子	89.7%	88.7%
			女子	80.5%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	64.8%	62.2%
			中	43.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			42.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			96.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	40.2%	40.7%
			高	44.5%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.19%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			3,070人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.026%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			46.2%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.1%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2022人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.9人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			91.2%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.9人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			27.5%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			85.5%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			70.1%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			19,269件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

広島県

				広島県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	77%	74.9%
			国語Ｂ	61%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	47%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	82.3%	77.9%
			中	75.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			89.8%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.7%	92.6%
			中	93.5%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.1%	4.6%
			中	6.1%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	81.5%	79.8%
			中	80.0%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.7%	91.1%
			中	94.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	97.9%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.6%	99.8%
			中	67.3%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	56.47	54.16
			女子	57.82	55.72
		中２	男子	43.87	41.96
			女子	51.87	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	58.5%	56.4%
			女子	35.0%	32.9%
		中２	男子	83.9%	84.8%
			女子	62.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.7%	93.3%
			女子	87.7%	87.4%
		中２	男子	90.1%	88.7%
			女子	79.9%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	66.4%	62.2%
			中	46.1%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			29.2%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			4.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	42.4%	40.7%
			高	44.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.18%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			4,089人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.016%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			56.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.1%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			11.8%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,842人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.1人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			76.2%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.9人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			15.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			83.3%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			79.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			32,812件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			8件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

山口県

				山口県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	58%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	49%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.6%	77.9%
			中	74.1%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			78.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.8%	92.6%
			中	94.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.1%	4.6%
			中	5.1%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.6%	79.8%
			中	77.9%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.9%	91.1%
			中	94.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	99.3%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.3%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	52.90	54.16
			女子	54.34	55.72
		中２	男子	41.45	41.96
			女子	49.38	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	62.2%	56.4%
			女子	39.5%	32.9%
		中２	男子	90.0%	84.8%
			女子	68.2%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.5%	93.3%
			女子	89.0%	87.4%
		中２	男子	89.9%	88.7%
			女子	80.3%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	70.0%	62.2%
			中	50.9%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			100.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			78.9%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	37.9%	40.7%
			高	37.6%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.43%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			2,473人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.037%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			37.3%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.2%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,110人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.4人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			77.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			32.2%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			71.0%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			85.0%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			14,000件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	57件

徳島県

				徳島県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	67%	65.2%
			数学Ｂ	49%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.1%	77.9%
			中	70.4%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			91.7%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.7%	92.6%
			中	92.1%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.2%	4.6%
			中	7.2%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	78.1%	79.8%
			中	74.2%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.1%	91.1%
			中	92.8%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	98.8%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.48	54.16
			女子	55.14	55.72
		中２	男子	41.78	41.96
			女子	49.37	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	57.1%	56.4%
			女子	33.0%	32.9%
		中２	男子	86.2%	84.8%
			女子	60.9%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.4%	93.3%
			女子	88.7%	87.4%
		中２	男子	89.5%	88.7%
			女子	80.3%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	51.2%	62.2%
			中	28.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			20.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			37.5%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	47.3%	40.7%
			高	40.6%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.95%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			375人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.000%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			47.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.0%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.6%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			611人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			9.6人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			90.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			45.7%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			96.7%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			95.7%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			6,570件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			2件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

香川県

				香川県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	48%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	66%	65.2%
			数学Ｂ	49%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	74.1%	77.9%
			中	65.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			94.8%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.2%	92.6%
			中	91.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.7%	4.6%
			中	6.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	78.5%	79.8%
			中	74.6%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.0%	91.1%
			中	92.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	98.5%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	54.05	54.16
			女子	55.68	55.72
		中２	男子	42.04	41.96
			女子	49.83	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	56.1%	56.4%
			女子	33.9%	32.9%
		中２	男子	88.1%	84.8%
			女子	62.6%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.0%	93.3%
			女子	85.6%	87.4%
		中２	男子	88.9%	88.7%
			女子	79.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	61.3%	62.2%
			中	43.4%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			15.8%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			41.2%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	33.1%	40.7%
			高	37.0%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.77%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			476人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.004%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			45.0%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.3%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			364人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.4人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			76.3%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.3人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			39.5%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			82.5%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			93.7%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			10,180件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

愛媛県

				愛媛県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	77%	74.9%
			国語Ｂ	59%	57.6%
			算数Ａ	82%	78.8%
			算数Ｂ	50%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	74%	72.7%
			数学Ａ	67%	65.2%
			数学Ｂ	51%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.6%	77.9%
			中	74.4%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			98.6%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.4%	92.6%
			中	93.6%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.4%	4.6%
			中	6.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	78.8%	79.8%
			中	74.4%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.1%	91.1%
			中	93.3%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.2%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.8%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.65	54.16
			女子	55.61	55.72
		中２	男子	40.49	41.96
			女子	49.41	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	57.0%	56.4%
			女子	37.4%	32.9%
		中２	男子	88.6%	84.8%
			女子	65.3%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.7%	93.3%
			女子	86.6%	87.4%
		中２	男子	89.3%	88.7%
			女子	80.2%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	70.9%	62.2%
			中	59.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			19.0%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			40.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	39.8%	40.7%
			高	40.8%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.85%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			538人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.015%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			47.3%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.7%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			18.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,628人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.4人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			88.0%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			8.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			95.2%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			82.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			12,134件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

高知県

				高知県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	82%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	76%	77.8%
			国語Ｂ	69%	72.7%
			数学Ａ	62%	65.2%
			数学Ｂ	45%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	80.0%	77.9%
			中	71.1%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			93.2%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	94.0%	92.6%
			中	93.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.7%	4.6%
			中	8.1%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	79.9%	79.8%
			中	77.3%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.2%	91.1%
			中	91.9%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	96.4%	99.8%
			中	92.4%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	98.4%	99.8%
			中	59.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.77	54.16
			女子	55.29	55.72
		中２	男子	42.55	41.96
			女子	49.42	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	54.9%	56.4%
			女子	35.9%	32.9%
		中２	男子	80.9%	84.8%
			女子	54.1%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.3%	93.3%
			女子	88.3%	87.4%
		中２	男子	88.3%	88.7%
			女子	77.1%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	55.4%	62.2%
			中	39.6%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			55.6%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			100.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	34.1%	40.7%
			高	31.7%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.59%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			212人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.005%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			38.0%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			6.4%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.6%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			161人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			16.9人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			83.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			25.3%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			96.3%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			85.7%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			7,277件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

福岡県

				福岡県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	58%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	46%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.2%	77.9%
			中	70.3%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			90.3%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.2%	92.6%
			中	92.5%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	6.9%	4.6%
			中	8.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	77.3%	79.8%
			中	75.5%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.0%	91.1%
			中	93.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	100.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	55.01	54.16
			女子	55.88	55.72
		中２	男子	43.26	41.96
			女子	50.30	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	57.9%	56.4%
			女子	32.2%	32.9%
		中２	男子	83.4%	84.8%
			女子	55.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.4%	93.3%
			女子	86.8%	87.4%
		中２	男子	88.9%	88.7%
			女子	77.8%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	59.1%	62.2%
			中	34.9%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			46.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			20.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	33.8%	40.7%
			高	39.5%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.91%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			17,519人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.022%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			47.6%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.4%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.2%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			3,118人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.6人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			70.8%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			7.6人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			8.2%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			85.1%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			81.6%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			53,710件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			16件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

佐賀県

				佐賀県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	80%	78.8%
			算数Ｂ	44%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	70%	72.7%
			数学Ａ	62%	65.2%
			数学Ｂ	46%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.1%	77.9%
			中	70.1%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			80.8%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.4%	92.6%
			中	93.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.9%	4.6%
			中	5.5%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	80.3%	79.8%
			中	79.1%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.9%	91.1%
			中	94.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.4%	99.8%
			中	98.9%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	98.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	54.43	54.16
			女子	55.24	55.72
		中２	男子	42.91	41.96
			女子	50.01	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	60.3%	56.4%
			女子	36.7%	32.9%
		中２	男子	89.1%	84.8%
			女子	67.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	93.7%	93.3%
			女子	86.9%	87.4%
		中２	男子	91.4%	88.7%
			女子	82.6%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	72.9%	62.2%
			中	47.9%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			47.6%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			25.0%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	32.9%	40.7%
			高	33.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			1.18%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			646人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.023%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			37.8%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.3%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			15.1%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			971人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.1人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			92.4%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			1.9人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			60.6%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			88.2%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			94.5%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			10,802件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			4件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

長崎県

				長崎県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	73%	74.9%
			国語Ｂ	56%	57.6%
			算数Ａ	78%	78.8%
			算数Ｂ	43%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	72%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	48%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.4%	77.9%
			中	71.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			94.8%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.2%	92.6%
			中	94.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.5%	4.6%
			中	5.2%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	81.3%	79.8%
			中	79.5%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.7%	91.1%
			中	94.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	99.7%	99.8%
			中	99.4%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	96.7%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	53.53	54.16
			女子	55.11	55.72
		中２	男子	41.89	41.96
			女子	49.81	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	62.4%	56.4%
			女子	40.0%	32.9%
		中２	男子	88.0%	84.8%
			女子	67.3%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.4%	93.3%
			女子	87.7%	87.4%
		中２	男子	91.1%	88.7%
			女子	78.6%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	64.8%	62.2%
			中	45.7%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			27.3%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			33.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	38.8%	40.7%
			高	39.9%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.90%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,914人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.007%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			37.7%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			4.8%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.2%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			2,104人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.4人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			76.3%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.2人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			35.4%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			84.6%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			80.9%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			13,933件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			3件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

熊本県

				熊本県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	80%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	77%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	63%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.8%	77.9%
			中	69.0%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			96.6%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.1%	92.6%
			中	93.2%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.6%	4.6%
			中	5.7%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	78.5%	79.8%
			中	73.7%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	91.7%	91.1%
			中	91.9%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	-	99.8%
			中	-	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	-	99.8%
			中	-	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	54.18	54.16
			女子	55.72	55.72
		中２	男子	41.80	41.96
			女子	49.81	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	63.7%	56.4%
			女子	41.7%	32.9%
		中２	男子	85.3%	84.8%
			女子	59.2%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.7%	93.3%
			女子	88.4%	87.4%
		中２	男子	90.1%	88.7%
			女子	78.0%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	69.4%	62.2%
			中	40.1%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			57.4%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			53.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	36.3%	40.7%
			高	38.8%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.42%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,114人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.035%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			41.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			3.7%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			17.7%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,151人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			81.2%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			19.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			72.2%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			86.1%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			17,902件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			5件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

大分県

				大分県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	58%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	79%	77.8%
			国語Ｂ	73%	72.7%
			数学Ａ	64%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	77.4%	77.9%
			中	70.9%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			88.1%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	91.5%	92.6%
			中	92.7%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.9%	4.6%
			中	6.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	76.4%	79.8%
			中	72.9%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.7%	91.1%
			中	93.6%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	100.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.9%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	56.64	54.16
			女子	58.08	55.72
		中２	男子	44.05	41.96
			女子	50.5	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	62.2%	56.4%
			女子	38.7%	32.9%
		中２	男子	89.1%	84.8%
			女子	65.4%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	92.8%	93.3%
			女子	85.5%	87.4%
		中２	男子	90.7%	88.7%
			女子	80.3%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	67.1%	62.2%
			中	45.5%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			84.2%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			66.7%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	43.1%	40.7%
			高	43.7%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.48%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			3,630人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.034%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			36.3%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			8.3%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			20.5%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			413人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			13.5人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			78.6%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.9人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			54.9%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			93.6%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			93.3%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			10,051件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			5件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

宮崎県

				宮崎県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	76%	74.9%
			国語Ｂ	55%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	44%	46.2%
		中	国語Ａ	78%	77.8%
			国語Ｂ	71%	72.7%
			数学Ａ	65%	65.2%
			数学Ｂ	47%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	79.7%	77.9%
			中	74.6%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			92.4%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	93.8%	92.6%
			中	93.9%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.1%	4.6%
			中	4.9%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	82.2%	79.8%
			中	76.9%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	92.7%	91.1%
			中	94.3%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	97.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	98.2%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）※８０点満点	小５	男子	55.09	54.16
			女子	56.58	55.72
		中２	男子	43.24	41.96
			女子	50.62	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	63.0%	56.4%
			女子	39.5%	32.9%
		中２	男子	88.1%	84.8%
			女子	63.8%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.9%	93.3%
			女子	89.6%	87.4%
		中２	男子	92.2%	88.7%
			女子	83.0%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	68.2%	62.2%
			中	44.3%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			22.2%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			61.5%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	41.4%	40.7%
			高	39.1%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.21%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			500人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.039%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			36.9%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			5.8%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			16.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			983人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			11.3人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			73.2%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			6.0人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			45.9%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			77.2%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			88.4%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			11,708件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			6件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

鹿児島県

				鹿児島県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	75%	74.9%
			国語Ｂ	55%	57.6%
			算数Ａ	79%	78.8%
			算数Ｂ	45%	46.2%
		中	国語Ａ	75%	77.8%
			国語Ｂ	70%	72.7%
			数学Ａ	61%	65.2%
			数学Ｂ	46%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	75.1%	77.9%
			中	68.3%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			95.6%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.2%	92.6%
			中	92.4%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	4.8%	4.6%
			中	5.6%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	77.5%	79.8%
			中	77.5%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	90.2%	91.1%
			中	93.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	99.1%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.9%	99.8%
			中	99.1%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.13	54.16
			女子	54.57	55.72
		中２	男子	41.24	41.96
			女子	49.16	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	58.0%	56.4%
			女子	35.5%	32.9%
		中２	男子	85.8%	84.8%
			女子	63.0%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.1%	93.3%
			女子	88.0%	87.4%
		中２	男子	90.9%	88.7%
			女子	79.1%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	70.4%	62.2%
			中	51.0%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			29.5%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			2.3%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	36.9%	40.7%
			高	37.6%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.17%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			1,075人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.167%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			31.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			7.7%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			20.1%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,191人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			12.8人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			74.6%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			4.3人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			61.6%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			74.8%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			88.0%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			14,664件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			7件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	57件

沖縄県

				沖縄県	全国
1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する					
目標（1）確かな学力の育成	・全国学力・学習状況調査の正答率	小	国語Ａ	73%	74.9%
			国語Ｂ	57%	57.6%
			算数Ａ	81%	78.8%
			算数Ｂ	46%	46.2%
		中	国語Ａ	72%	77.8%
			国語Ｂ	67%	72.7%
			数学Ａ	58%	65.2%
			数学Ｂ	42%	48.7%
目標（２）豊かな心の育成	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善		小	74.8%	77.9%
			中	67.0%	70.7%
	・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善			93.0%	90.5%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合		小	92.0%	92.6%
			中	92.3%	91.9%
目標（３）健やかな体の育成	・朝食を欠食する児童生徒の割合の改善		小	5.0%	4.6%
			中	7.4%	6.8%
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善		小	77.8%	79.8%
			中	78.8%	75.7%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善		小	89.4%	91.1%
			中	93.1%	92.5%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合）		小	100.0%	99.8%
			中	98.0%	95.1%
	・学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）		小	99.8%	99.8%
			中	99.5%	90.1%
	・実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点） ※８０点満点	小５	男子	53.30	54.16
			女子	54.19	55.72
		中２	男子	41.59	41.96
			女子	48.31	49.80
	・体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）	小５	男子	63.7%	56.4%
			女子	39.5%	32.9%
		中２	男子	83.8%	84.8%
			女子	63.6%	61.6%
	・運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	小５	男子	94.3%	93.3%
			女子	89.2%	87.4%
		中２	男子	90.5%	88.7%
			女子	81.1%	78.5%
目標（６）家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善		小	45.9%	62.2%
			中	33.8%	41.5%
	・コミュニティスクールの導入率			11.9%	30.5%
	・地域学校協働本部の推進状況			51.2%	41.1%
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する					
目標（７）グローバルに活躍する人材の育成	・英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR のA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする		中	31.7%	40.7%
			高	44.3%	39.3%
	・日本人高校生の海外留学生数を６万人（1.76%）にする（当該都道府県の高校生徒数のうち、留学した高校生の割合）			0.92%	1.05%
	・外国人留学生数３０万人（約3万3,000人増（約11%増））を目指す　※「全国」欄は総数			2,215人	267,042人
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する					
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・経済的な理由による高校中退者の減少（在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）			0.144%	0.035%
	・高等教育機関（４年制大学）への進学率　※現役のみ			35.4%	49.6%
	・高等教育機関（短期大学）への進学率　※現役のみ			3.9%	4.8%
	・高等教育機関（専門学校）への進学率　※現役のみ			25.0%	16.2%
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加　※高等学校を除く ※「全国」欄は総数			1,202人	108,946人
	・不登校の割合（国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数）			16.2人	13.5人
5．教育政策推進のための基盤を整備する					
目標（１７）ICT利活用のための基盤の整備	・教師のICT活用指導力の改善			85.9%	75.0%
	・学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備			5.1人／台	5.9人／台
	・普通教室における無線LANの100%整備			34.8%	29.6%
	・超高速インターネットの100%整備			80.1%	87.3%
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）			79.8%	88.4%
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）※「全国」欄は総数			9,708件	1,030,882件
	・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			1件	398件
	・学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）※「全国」欄は総数			0件	57件

【参考】各指標データの出典、数値の計算方法、備考

※3

1．夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する		
目標（1） 確かな学力の育成	・ 全国学力・学習状況調査の正答率　※１	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度）　平均正答率 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
目標（２） 豊かな心の育成	・ 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度） 問「自分には，よいところがあると思いますか」に対して「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」と答えた割合 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
	・ いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善	（資料）「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（平成28年度（確定値）） http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/02/1401595.htm 国公私立小・中・高等学校、特別支援学校における「いじめの現在の状況」において、「いじめの認知件数」に占める「解消しているもの」と回答した割合
	・ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度）　問「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」と答えた割合 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
目標（３） 健やかな体の育成	・ 朝食を欠食する児童生徒の割合の改善	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度）　問「朝食を毎日食べていますか」に対して「あまりしていない」「全くしていない」と答えた割合 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
	・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合の改善	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度）　問「毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか」に対して「している」「どちらかといえば，している」と答えた割合 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
	・ 毎日、同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合の改善	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度）　問「毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」に対して「している」「どちらかといえば，している」と答えた割合 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
	・ 学校給食の実施率向上（学校給食を実施している公立学校の割合） ・ 学校給食の実施率向上（学校給食を受けている児童生徒の割合）	（資料）「学校給食実施状況調査」（平成28年度）　学校給食を実施している公立学校の割合、学校給食を受けている児童・生徒の割合 https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00400802&tstat=000001016540
	・ 実技テストの合計得点（握力、上体起こし、長座体前屈など8つのテスト項目の体力合計点）　※１	（資料）全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平成29年度）　実技の状況（公立学校都道府県別データ） http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1401184.htm
	・ 体育・保健体育の授業を除く１週間の総運動時間（420分以上の割合）　※１	（資料）全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平成29年度）　１週間の総運動時間（420分以上） http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1401184.htm
	・ 運動やスポーツが好きな児童生徒の割合　※１	（資料）全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平成29年度）　運動やスポーツが（「好き」「やや好き」と答えた児童生徒の割合 http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1401184.htm
目標（６） 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	・ 地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善	（資料）全国学力・学習状況調査（平成29年度）　問「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に対して「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」と答えた割合 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/detail/1394884.htm
	・ コミュニティスクールの導入率　※１	（資料）コミュニティ・スクール導入状況調査（平成30年4月1日現在） コミュニティ・スクールを導入している学校設置者数を全国の学校設置者（平成３０年４月１日調査で、各教育委員会から報告があった学校設置者数）で割った値。公立学校のみ対象。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/shitei/detail/1405722.htm
	・ 地域学校協働本部の推進状況　※１	（資料）「地域学校協働活動推進事業」に係る事業計画書（平成29年度）　都道府県内の市区町村数のうち地域学校協働本部を整備している市区町村数の割合 ※本数値は国の補助金を活用して整備されている地域学校協働本部の整備率であり、自治体独自で実施している本部については含まれていない。 現在、自治体独自の取組も含め、全国的な地域学校協働活動の実施状況について調査中（秋頃までに速報値をとりまとめ予定。）
2．社会の持続的な発展を牽引(けんいん)するための多様な力を育成する		
目標（７） グローバルに活躍する人材の育成	・ 英語力について、中学校卒業段階でCEFR のA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を５割以上にする	（資料）「英語教育実施状況調査」（平成29年度）　http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1403468.htm 中学３年生のうち、英検３級以上を取得または相当の英語力を有する生徒の割合、　高校３年生のうち、英検準２級以上を取得又は相当の英語力を有する生徒の割合
	・ 日本人高校生の海外留学生数を６万人にする	（資料）「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」（平成27年度）　日本人高校生の海外留学生数 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/koukousei/1323946.htm（本調査結果報告ページでは、都道府県別の数値・割合について公表していない）
	・ 外国人留学生数	（資料）外国人留学生在籍状況調査結果（平成29年度）（（独）日本学生支援機構）　平成29年5月1日現在の外国人留学生数 https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2017/index.html
4．誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する		
目標（１４）家庭の経済状況や地理的条件への対応	・ 経済的な理由による高校中退者の減少 （在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合）	（資料）「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（平成28年度（確定値）） http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/02/1401595.htm 「国公私立高等学校における中途退学者数等の状況」において、４月１日現在の在籍者数に占める経済的な理由が原因である中退者数の割合を上記の調査結果に基づき算出
	・ 高等教育機関（４年制大学・短期大学・専門学校）への進学率　※１	（資料）学校基本統計（平成29年度）当該年度の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程修了者のうち、直ちに大学（学部）、短大（本科）、専修学校（専門課程）に進学した者の割合 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/__icsFiles/afieldfile/2018/03/30/1403109_13.pdf（該当データはP17上段に記載）
目標（１５）多様なニーズに対応した教育機会の提供	・ 小・中・高等学校等において通級による指導を受けている児童生徒数の増加	（資料）「通級による指導実施状況調査」（平成29年度）　公立小・中学校において通級による指導を受けている児童生徒数（高等学校については平成30年度以降にデータを取得） http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/1402845.htm
	・ 不登校の割合　※１	（資料）「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（平成28年度（確定値））　国公私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/02/1401595.htm
5．教育政策推進のための基盤を整備する		
目標（１７） ICT利活用のための基盤の整備	・ 教師のICT活用指導力の改善	（資料）「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（平成28年度） https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&tstat=000001045486&cycle=0&tclass1=000001110975&tclass2=000001112578&second2=1 ・授業中にＩＣＴを活用して指導する能力について「わりにできる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合の平均 ・児童生徒の総数を教育用コンピュータの総数で除して算出した値 ・無線ＬＡＮを整備する普通教室の総数を普通教室の総数で除して算出した値 ・インターネット接続を整備する学校の総数を、学校の総数で除して算出した値
	・ 学習者用コンピューターを３クラスに１クラス分程度整備　※２	
	・ 普通教室における無線LANの100％整備　※２	
	・ 超高速インターネットの100％整備　※２	
目標（１８）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備	・ 私立学校（幼稚園から高等学校）の耐震化等の推進（早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了）	（資料）「私立高等学校等の実態調査」（平成29年度）　私立学校施設の耐震改修状況等、非構造部材の耐震点検・耐震対策状況調査に基づく耐震化率 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/006/1259295.htm
目標（１９）児童生徒等の安全の確保	・ 学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（負傷・疾病の発生件数）	（資料）災害共済給付状況（平成29年度）（（独）日本スポーツ振興センター）　負傷・疾病の発生件数、障害見舞金の給付件数、死亡見舞金の給付件数 https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Tabid/80/Default.aspx
	・ 学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善（障害見舞金給付件数）	
	・ 学校管理下において死亡する児童生徒等の数を限りなくゼロにする（死亡見舞金給付件数）	

※１　第３期の教育振興基本計画には盛り込まれていないが関連のある指標
※２　市町村別にも公表されている指標
※３　調査の実施主体が記載されていないものについては文部科学省が実施